



部隊防護作戦について

(連隊の新型コロナウイルス対策)

連隊
94.3%

1. 連隊のワクチン接種状況

連隊は職域接種及び自治体での接種を通じて多くの隊員がワクチンを接種し、接種率は94.3%（11月8日現在）です。

また、医務官（内科医）によるワクチン接種における副反応に関する教育を受けるなど、ワクチン接種に関する正しい知識についても普及しています。今後は3回目のワクチン接種、いわゆるブースター接種が開始された場合は、引き続き接種率の向上に努めるとともに、積極的に新型コロナウイルス感染防止に努め任務に邁進して参ります。

2. 連隊の新型コロナウイルス感染症予防策について

連隊は新型コロナウイルス感染症予防のため、様々な策を講じています。訓練間における不織布マスクの着用、訓練後の手洗い、うがいなどの基本的な予防に加えて、宿泊場所や乗車の人員数の制限及び積極的な換気等により3密防止を徹底しています。また、職場の事務室においてはアクリル板等で仕切りを作成して、飛沫の飛散防止に努めています。

その他、他駐屯地での教育入校の際は、事前にPCR検査を実施して陰性が証明された隊員のみ教育参加することを徹底しています。

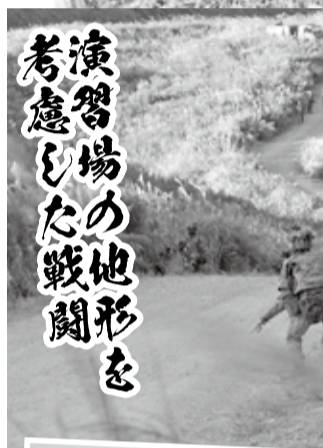
また、日々の朝・終礼を活用して感染予防のため、不要不急の外出を控えるように声掛けを実施し、隊員1人ひとりに対して感染予防の意識を醸成しています。油断せず、引き続き感染症予防に努めていきます。

3. 今後の予定

連隊は今後も感染症患者を出さないために、隊員一人ひとりが真摯に取り組み自分を守るため、仲間を守るため、そして家族を守るため「部隊防護作戦」を遂行しつつ、令和4年も与えられた任務を完遂するため一致団結して邁進していきます。

感染予防のためご家族には多大なご迷惑をお掛けしますが、今後ともご理解・ご協力のほど宜しくお願い致します。

3中隊が勝利!



大矢野原演習場で 遭遇戦を実施